



1 坂出駅前の拠点施設を考えるワークショップとは？

坂出市では、JR坂出駅前を「まちのリビング」と呼べる居場所とするために図書館機能を核とした拠点施設整備を計画しています。

そこで、どのような拠点施設をめざすべきか市民参加型のワークショップを全3回開催し、幸せに暮らせるまちの将来について市民の皆様と一緒に考えていきます。



第1回

令和5年 7月23日 日 9:30~12:00

まちづくりの視点『駅前をまちのリビングにしよう』

■駅前空間の再認識 ■「まちのリビング」に必要な空間・もの・コトの検討



第2回

令和5年 7月30日 日 9:30~12:00

施設の視点『駅前の図書館にはどんな機能が必要？』

■駅前図書館への導入機能や施設についてのアイデア出し



第3回

令和5年 8月12日 土 9:30~12:00

運営の視点『みんなの“ココチよさ”をかなえよう』

■必要となる機能や施設から、人の関わり方についての検討

第3回ワークショップを開催しました

令和5年8月12日(土)、坂出市役所の大会議室にて第3回のワークショップを行いました。最終回となります今回は29名の方にご参加いただき、駅前拠点施設整備を含めたまちづくりに対するご意見をいただきました。

これまでのワークショップに引き続き、花井裕一郎氏のファシリテーションのもと、高校生から70代までの参加者が6班に分かれて、2つのグループワークが行われました。

今回のワークショップでは、中心市街地全体の活性化を図るべく坂出駅周辺再整備基本構想の6つのエリアへと視点を広げ、エリアごとの導入機能や各エリアとの連携案を検討しました。

さらに、これを踏まえて、駅前拠点施設に再び焦点を戻し、拠点施設への導入機能について、建物の形態や階層をそこに関わる人と併せて考えました。



ワークショップの内容

1. 本でつながる連携機能を考える
2. 駅前拠点施設を立体的に考える
3. 人の関わりについて考える
4. 各班の発表



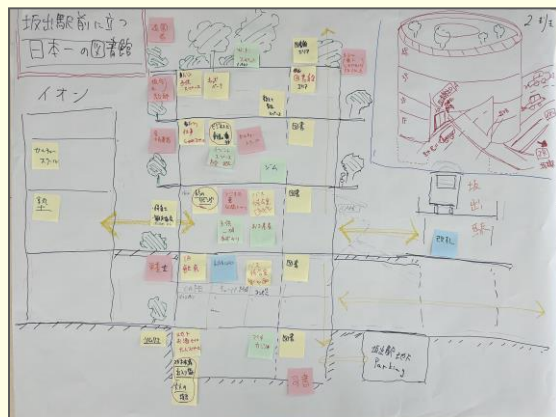
ワークショップの様子



花井氏からは図書館だけではなく、まち全体で取り組んだ事例の紹介と参加者の方へ沖縄旅行のお土産がありました。



第3回は各班がこれまで考えた機能や設備を取り入れて具体的な施設として検討しました。








ワークショップでの各班の意見 1班

各班の意見や検討結果を紹介します。

※赤字については各班が全体発表時に強調していた箇所です。

学生に
優しい施設

1班の考える坂出駅前拠点施設

	図書館機能	その他の機能	運営	全体
4階		<ul style="list-style-type: none"> ・文具および雑貨店 ・場外車券売り場 		・Wi-Fi  FREE Wi-Fi
3階	<ul style="list-style-type: none"> ・図書コーナー (趣味) 	<ul style="list-style-type: none"> ・カルチャースペース ・フィットネスクラブ ・地元の企業および団体紹介コーナー ・eスポーツブース 	<ul style="list-style-type: none"> ・司書 	
2階	<ul style="list-style-type: none"> ・図書コーナー (学習) 	<ul style="list-style-type: none"> ・自習室 ・週末子ども食堂 ・ミーティングルーム (学生無料) 	<ul style="list-style-type: none"> ・司書 ・週末ボランティア 	
1階	<ul style="list-style-type: none"> ・図書コーナー (児童書) 	<ul style="list-style-type: none"> ・フードコート (簡易バーの併設) ・キッズスペース ・託児スペース ・公園 (水遊び場、キッチンカー) ・SNSスポット 	<ul style="list-style-type: none"> ・司書 ・高校生ボランティア (司書、保育士等) 	
地下1階		<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場 		

6つのエリアとの連携案

- ・坂出駅前エリアを中心とするまちづくり
- ・各エリアを学生が立ち寄りやすい場所に

1班におけるワークショップの様子



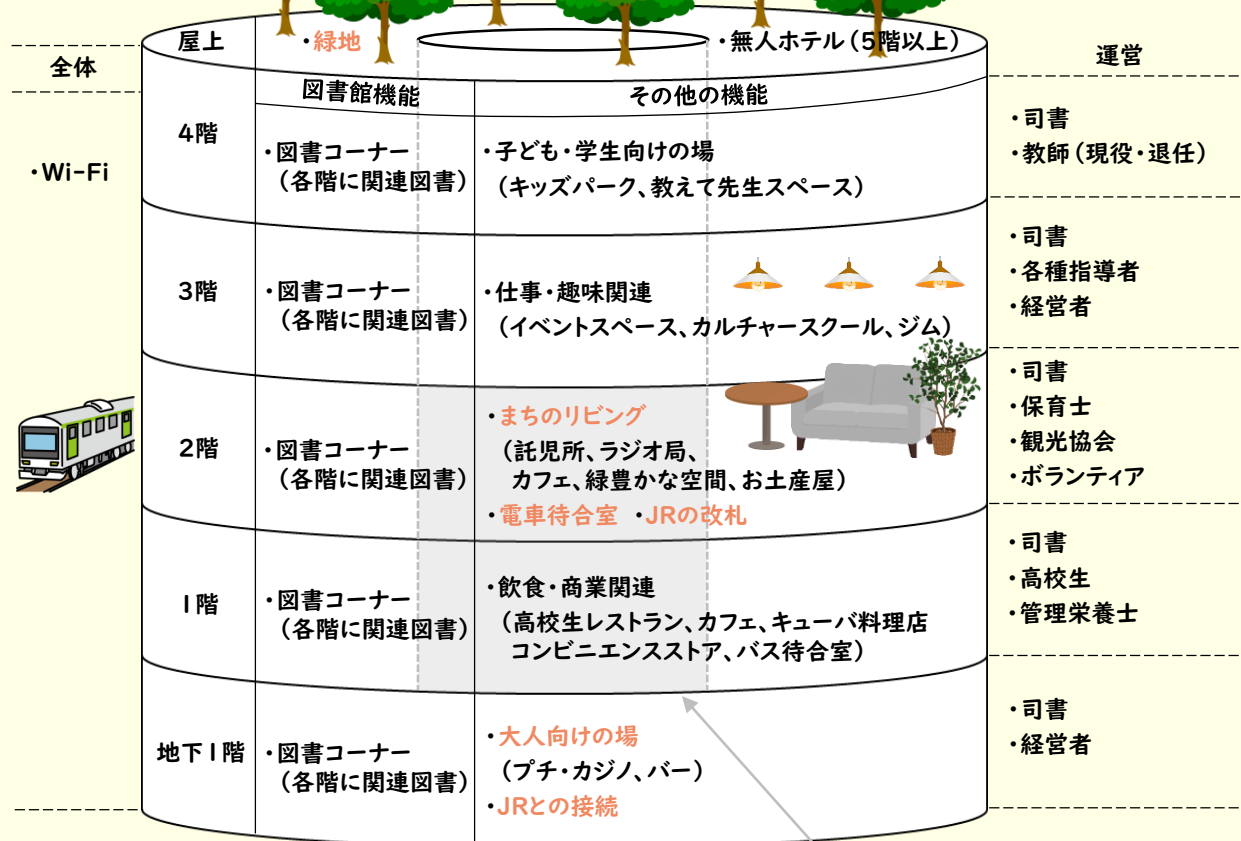
ワークショップでの各班の意見 2班

各班の意見や検討結果を紹介します。

※赤字については各班が全体発表時に強調していた箇所です。

坂出駅前に建つ
日本一の図書館

2班の考える坂出駅前拠点施設



※通り抜けれる道路

6つのエリアとの連携案

- ・各エリアを含む街中に**図書資料の返却ポスト**を設置
- ・駅前拠点施設に**サイクリストの拠点**や**まちの掲示板**を設置することで、各エリアの説明や他エリアへの来訪のきっかけづくりを行う



2班におけるワークショップの様子



3

ワークショップでの各班の意見 3班

各班の意見や検討結果を紹介します。
 ※赤字については各班が全体発表時に強調していた箇所です。



3班の考える坂出駅前拠点施設



屋上	・観覧車 ・ドクターヘリ ・緑地			全体
	図書館機能	その他の機能	運営	
3~17階	<ul style="list-style-type: none"> 図書館 本棚スタンプラリー 	<ul style="list-style-type: none"> 宿泊施設(変なホテル) ・イベント会場 娯楽施設(ホールや映画館) ・川 うどん体験教室 ・健康教室 ・資料室 ミーティングルーム ・サイエンス館 動物触れ合えるフロア ・託児スペース 高校生フロア(17階) ・すべり台 	<ul style="list-style-type: none"> 司書 保育士 弁護士 カウンセラー 大学教授 役者兼職員 	<ul style="list-style-type: none"> ガラスによる太陽光発電 Wi-Fi 多様性
2階	<ul style="list-style-type: none"> 屋外図書館 	<ul style="list-style-type: none"> 総合受付 飲食店(カフェ、うどん店) 市場 商店街エリアの店舗紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ボランティア コンシェルジュ(翻訳や手話可能) 坂出市について詳しい人物 	<ul style="list-style-type: none"> 公平性 包括性
1階		<ul style="list-style-type: none"> 飲食店 ・ショップ ・バス・タクシー乗り場 サイクリングステーション 広場 ・緑地 ・キッチンカー 	<ul style="list-style-type: none"> 司書 高校生ボランティア(司書、保育士等) 	<ul style="list-style-type: none"> 高速エレベーター バリアフリー化
地下1~3階		<ul style="list-style-type: none"> 駐車場 駐輪場 		<ul style="list-style-type: none"> FREE Wi-Fi

6つのエリアとの連携案

- 「^{らい}来ぶらりなライブラリーづくり」
 (図書館に限らず市内各所で、市民によって双方向的に書籍が紹介されるシステムを展開する)
- 市内をプロムナード化することで、エリア間のウォークブルを実現する



3班におけるワークショップの様子





3

ワークショップでの各班の意見



4班

各班の意見や検討結果を紹介します。
※赤字については各班が全体発表時に強調



4班の考える坂出駅前拠点施設

屋上		・アウトドア施設(グランピングやバーベキュー会場) ・バー ・天体望遠鏡博物館の分館		全体
	図書館機能	その他の機能	運営	
3階	・読書スペース	<ul style="list-style-type: none"> ・本がメインの宿泊施設 ・ファミリーや子ども向けスペース 	<ul style="list-style-type: none"> ・宿泊施設経営者 	<ul style="list-style-type: none"> ・ガラス張り ・アロマ ・BGM
2階	<ul style="list-style-type: none"> ・電子書籍閲覧 ・自動検索機 ・セルフ貸出機 ・郷土資料 	<ul style="list-style-type: none"> ・うどん関連施設(うどん店、博物館、うどんプール) ・特産物の販売 ・子ども食堂 ・飲食スペース ・JRとの連絡口 	<ul style="list-style-type: none"> ・司書 ・子ども食堂ボランティア 	<ul style="list-style-type: none"> ・インフルエンサー ・囲碁 ・将棋
1階	<ul style="list-style-type: none"> ・電子書籍閲覧 ・自動検索機 ・セルフ貸出機 	<ul style="list-style-type: none"> ・オープンスペース ・フリーレンタルスペース ・オープンキッチン ・和室 ・多目的ホール ・ミニシアター ・運動ができるスペース ・まちの保健室 ・託児所 ・学習室 ・バスや電車の待合室 ・駐輪場 ・緑地 ・水遊び場 ・足湯 ・サウナ ・モニュメンタルなスポット ・飲食店 	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生 ・市民 ・読み聞かせスタッフ ・イベントコンシェルジュ ・医療関係者 ・カウンセラー ・保育士 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽 



6つのエリアとの連携案

- ・イベントコンシェルジュによる他のエリアとの連携を意識したイベント
- ・各エリアをつなぐ巡回バスや自転車、電動キックボードなどによる回遊性の拡大



4班におけるワークショップの様子



ワークショップでの各班の意見 5班

各班の意見や検討結果を紹介します。

※赤字については各班が全体発表時に強調していた箇所です。

海や山などの
自然を感じられる
テーマ性のある建物

5班の考える坂出駅前拠点施設

屋上	・バー ・バーベキュー会場			隣接施設
	図書館機能	その他の機能	運営	
5階	・図書コーナー (趣味・ビジネス)	・小劇場 ・スタジオ(音楽、ダンス等) ・コワーキングスペース ・ミーティングルーム	・司書 ・市民 ・企画運営会社 ・ボランティア	・宿泊施設
4階	・ メイン図書館	・学習スペース	・司書 ・プログラマー	
3階	・図書コーナー (児童書)	・キッズコーナー ・おもちゃ美術館 ・託児室	・司書 ・子育てアドバイザー ・保育士	
2階	・図書コーナー (趣味)	・まちの保健室 ・健康相談コーナー ・イベントスペース ・ ギャラリー	・司書 ・派遣医師 ・看護師 ・ギャラリースタッフ	
1階	・図書コーナー	・飲食店(カフェ、コーヒー店、うどん店) ・屋外緑地広場(屋外イベント、コンサート、 遊具、ベンチ、噴水、産地直売市場) ・ 無料駐車場 ・ジェンダーフリートイレ	・司書 ・店舗経営者	
地下1階		・駐車場 ・ ゴミ集積所		

6つのエリアとの連携案

- ・坂出駅北側地下駐車場の有効活用大型商業施設との連携
- ・商店街イベントとの連携

5班におけるワークショップの様子





3

ワークショップでの各班の意見 6班



各班の意見や検討結果を紹介します。

※赤字については各班が全体発表時に強調していた箇所です。

各階層のジャンルに合わせた図書を配置



6班の考える坂出駅前拠点施設

屋上	・バル ・緑地 ・イベントスペース ・防災拠点			全体
	図書館機能	その他の機能	運営	
5階	・ 図書コーナー (ビジネス)	・高級 ホテル ・日帰りサウナ	・司書 ・ホテルコンシェルジュ	 FREE Wi-Fi ・各階層で本の貸出 ・Wi-Fi 
4階	・ 図書コーナー (学習・ビジネス)	・ものづくり工房 ・コワーキングスペース ・ 小規模貸し会議室 ・静かな自習室 ・フリースペース	・司書 ・スペース利用に関するシステム形成を行える人(松尾教授)	
3階	・ 図書コーナー (児童書)	・中庭 ・ キッズアドベンチャースペース ・フードコート ・リラクゼーション機能 ・ 託児所 ・ 子どもの習い事教室 ・ヘアサロン	・司書 ・保育士 ・美容師 ・子育てアドバイザー	
2階	・ 図書コーナー (雑誌、海外図書漫画、趣味)	・まちの保健室(病院との連携、カウンセリング) ・音楽ショップ ・コーヒーショップ ・お土産売場 ・うどん博物館 ・ 瀬戸芸との連携 ・ JRの改札	・司書 ・観光協会 ・観光コンシェルジュ ・保健師 ・看護師 ・うどん協会	
1階	・ 図書コーナー (アート、市民が本を紹介し合う)	・カフェ ・コンビニ ・商業施設 ・待合場所 ・中高生が活動できる場所 ・ バスターミナル ・広場(ドッグラン、ドッグカフェ、犬の一時預かり)	・司書 ・学生 ・アーティスト ・ボランティア	
地下1階		・スポーツジム ・eスポーツ ・シェアキッチン ・イベント会場 ・ホール ・音楽スタジオ ・塩づくり体験教室 ・塩博物館	・各施設運営者 ・講師	



6つのエリアとの連携案

- ・坂出駅前エリアを中心として、各エリアに**図書資料の返却ポスト**を設置
- ・駅前拠点施設で**簡易な体験教室**を設けて、他エリアでそれらに関するさらなる**体験**を提供する
- ・各エリアでの**イベントなどの宣伝や連携**によって、ウォークアブルなまちづくりを実現する



6班におけるワークショップの様子



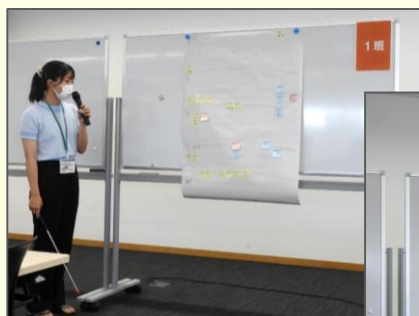
各班の発表 および 意見のまとめ

各班における駅前拠点施設では、図書館機能を1箇所に集約させるのではなく、施設各階にテーマ性と関連機能を持たせたうえで、それらと関連する図書資料をそれぞれのフロアに所蔵させる図書コーナー案やJR坂出駅と連結させる案が多く見受けられました。

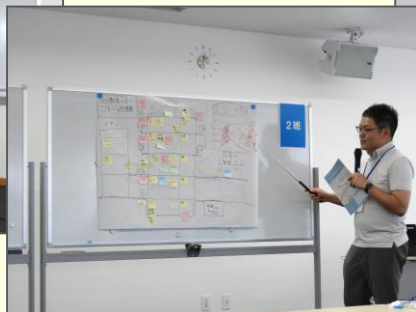
各階のテーマ性は各班によって様々でしたが、市民活動の場（コミュニティスペース、教室等）、子育て支援の場（託児所、キッズスペース等）、仕事や学びの場（ワーキングスペース、貸し会議室、自習室等）、健康増進の場（まちの保健室等）、市外からの来訪者向けの場（物産、体験教室等）、憩いの場（飲食店、緑のある空間等）を設けることで、全ての人にとって居心地の良い「まちのリビング」構想を叶える提案が共通して多く挙げられていました。

また、1階もしくは地下1階に駐車場を設ける案も多く、駅前ではありますが、車での利用が多く見込まれる事も読み取れました。

加えて、市外からの来訪者に対する機能として、ホテルなどの宿泊施設を挙げる班も多くありました。



【1班】



【2班】



【3班】

各エリアとの連携案としては、坂出駅前エリアの図書館機能を有する拠点施設を中心として既存の図書館サービス（返却ポスト、本紹介コーナー、イベントや体験等）を新たな形で市内の各所に展開させる案が多く挙がっていました。

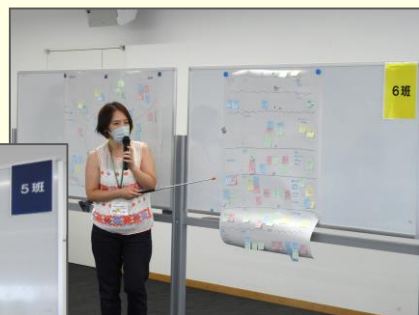
また、ウォークブルなまちづくりを実現させつつ、各エリアを連結する市内巡回バスとその他交通手段を活用する案もありました。



【4班】



【5班】



【6班】



全3回のワークショップを終えて

市民の皆様と一緒に坂出駅前の拠点施設を考えるために、全3回のワークショップを開催したところ、当初予定していた30名を大きく上回る39名の方にご参加いただき、たくさんの貴重なご意見やアイデアをお聴きすることができました。

今回のワークショップにご参加いただいた方からは「今回のワークショップのように、積極的に市民の参加を促し意見を取り入れる取り組みに嬉しくなった」「坂出駅前の拠点施設を通じて、あらためて我が街について真剣に考えることが出来たワークショップだった」というご感想や「高校生をはじめ幅広い世代の参加者がいて、坂出の未来を考える若い世代がいることに安心した」「普段接することのない年代の人の意見を聴くことができてよかった」「子どもの一時預かりがあったので、参加しやすかった」というコメントをいただきました。

また、「今後の坂出駅前が楽しみになったので協力したい」「今後もこういった機会があれば、参加したい」という、これからの取り組みに対しても前向きなご意見もありました。

今後も、そこに暮らす人たちが自らの地域の姿を考えるまちづくりをめざしていきますので、ご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

ワークショップへのご参加、本当にありがとうございました。



参加者の皆さま



ご参加いただき
ありがとうございました！

今回もボランティアグループ「夢・ゆめクラブ」さんのご協力により、ワークショップに参加する方のお子様の一時預かりを実施しました。今回は10名のお子様遊びに来てくれました。夢・ゆめクラブさん、ご協力ありがとうございました。

